

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	しまねブランド推進課長 日下 純子	電話番号	0852-22-6858
----------	-------------------	------	--------------

事務事業の名称	国際経済交流促進事業		
目的	(1) 対象	県内企業	
	(2) 意図	企業経営の国際化を図る	
事業概要	○本県からの輸出拡大を図るため、海外取引に意欲を持つ県内企業の自立的取組を支援するとともに、成長市場を見据えた戦略的取組を展開する。 ○県内企業の海外取引を促進し、本県産業の振興を図るため、JETRO松江の運営に係る経費及びしまね産業振興財団が実施する国際経済事業に要する経費を助成する。 ○国際貿易港である浜田港及び境港の利用促進を図るため、浜田港振興会及び境港貿易振興会の活動に要する経費を負担する。 ○県内企業の貿易・投資実態を把握し、貿易振興施策の基礎資料とするため、貿易概況調査を実施する。 ○浜田港を西日本におけるロシア貿易拠点と位置付け、対ロシア貿易の拡大を図るため、浜田港振興会に対してプロジェクト経費を負担する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県内企業の貿易実績企業数	目標値	180.0	185.0	190.0	195.0	200.0	社
		取組目標値						
	式・定義 (島根県貿易概況調査)	実績値	183.0					%
		達成率	101.7	-	-	-	-	
2	指標名 浜田港国際コンテナ貨物取扱量	目標値		3,000.0	3,300.0	3,600.0	3,900.0	TEU
		取組目標値						
	式・定義 (浜田港振興会調査)	実績値	2,482.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	52,836	43,268
うち一般財源 (千円)	52,836	43,268

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成27年度浜田港(三隅港を含む)貿易実績 輸出額：1,343百万円(対前年比28.5%) 輸入額：14,020百万円(対前年比162.8%) ※暦年 国際コンテナ貨物取扱量：2,482TEU(対前年比72.6%) ロシア貿易実績 輸出額 706百万円(対前年比21.4%) ※暦年 ロシア向け中古車輸出台数：690台(対前年比25.2%) 平成27年度しまね海外販路開拓支援補助金実績 採択件数：22件(申請件数：23件) 補助額：12,802千円(産業振興課予算を含む)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・しまね海外販路補助金の活用により、海外企業との新規取引や取引拡大を達成するなど、県内事業者の海外展開に有益な支援ツールとなっている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- ・為替相場の変動や世界経済の景況が地域の経済・産業に大きな影響を与える中において、海外市場をめぐる自治体の競争が一層激しさを増している。
 - ・浜田港の国際コンテナ貨物の取扱量が前年を下回り、ロシア向け中古車輸出が減少している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・世界各国で情勢が混迷を深める中、国際情勢に係る正確かつ迅速な情報収集・提供が不十分
 - ・競争が激化する海外市場で、効率的に県産品を浸透・定着させるための手法の確立が不十分
 - ・ロシア経済の悪化や韓国向け檜丸太の需要の低迷
- ③原因を解消するための「課題」
- ・県内の貿易支援機関(しまね産業振興財団、JETRO松江、浜田港振興会など)の機能を最大限に活用し、より効果的で効率的な支援体制の強化が必要
 - ・貿易企業が増加する中で、小規模取引や直接取引への支援
 - ・広域的な集荷体制の構築や中古車に代わる新規貨物の掘り起こし

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・ジェットロや現地コーディネーターの活用により、海外の最新情報や海外バイヤー等のニーズを把握し、県内の貿易支援機関が密接に連携し、効果的で効率的な支援体制の強化を図る。

・「島根県における今後の貿易振興のあり方」の総合的な見直しを行い、小規模取引や直接貿易の支援策を検討する。

・石見全域から、出雲、広島県北部に至る広域的な官民連携組織「浜田港拠点化研究会」(平成28年5月設立)と連携し、浜田港振興会を中心に広域的な集荷対策を行う。

9. 追加評価(任意記載)

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	国際経済交流促進事業
---------	------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	直接貿易を行う県内企業数	目標値		96.0	100.0	105.0	110.0	社
			取組目標値						
	式・定義	(島根県貿易概況調査)	実績値	92.0					%
			達成率	—	—	—	—	—	
4	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	